

見送りを受け出港する高速船甕島の第1便
 二日午前9時、薩摩川内市の川内港



「高速船甕島」就航初便に127人

薩摩川内市の川内港と甕島を結ぶ「高速船甕島」（197ト、200人乗り）が2日、就航した。初便には127人が乗船し、快晴の下、快適な旅を満喫した。JR川内駅を発着する連絡シャトルバスの運行も始まった。

川内港の高速船ターミナルでは、乗組員に安全祈願の千羽鶴などが贈られた後、住民や観光客らが次々と乗り込んだ。日帰りツアーに参加した同市田崎町の今村勝義さん（73）は「窓からの眺めが想像以上にいい。最高の気分」。港近くで民宿を営む田平純男さん（68）は「宿泊客にPRできるよう、船と島の魅力を体感したい」と話した。

運航は1日2往復。甕島の寄港地となる里・長浜の両港では、住民らが郷土芸能や島の食材を使った料理で乗客をもてなした。
 （梅下陽一）

編者注記：合併特例債を活用した「高速船甕島」（13億6,500万円）の就航初日の第一便乗船者が定員の63.5%の乗船率とは？市観光物産協会では、Aコース（日帰り上甕島の旅12,900円）、Bコース（日帰り下甕島の旅11,000円）、Cコース（上甕島に泊まる1泊2日の旅29,800円）Dコース（下甕島に泊まる1

高速船 甕島 運航時刻表 平成26年4月2日就航

港名	春夏ダイヤ（4月～9月）				港名	秋冬ダイヤ（10月～3月）			
	1便		2便			1便		2便	
	下り	上り	下り	上り		下り	上り	下り	上り
川内	9:00発	11:50着	15:10発	18:00着	川内	9:00発	11:50着	14:30発	17:20着
里	9:40着			17:20発	里	9:40着			16:40発
	9:50発			17:10着		9:50発			16:30着
長浜	10:30着	10:40発	16:20着	16:30発	長浜	10:30着	10:40発	15:40着	15:50発

泊2日の旅31,800円)を企画され、同じ市域圏での本土とを結ぶ生活の足便を活用し、川内港から東シナ海に浮かぶ宝の島＝甕島への船旅を案内はしているのですが。就航初日から“天気晴朗なれど波高き”とZ旗を掲げての船出になったようですね。

<http://www.koshikisho.co.jp/hpdata/info/pdf/phpgGCWpG.pdf>

<http://www.koshikisho.co.jp/kousokusenkoshibikishima.html>

還付加算金未払い霧島市では 259 万円

霧島市は 2 日、市県民税などの還付加算金の未払いが、延べ 609 人で 259 万 2,800 円に上ったことを明らかにした。市は 3 月末までに関係書類を郵送し、支払い手続きを進めている。

過去 5 年分が対象となる市県民税は 360 人で 127 万 4,200 円、固定資産税は 36 人で 73 万 6 千円、国民健康保険税は 199 人で 56 万 2 千円。過去 2 年間が対象の介護保険料は 2 人で 2,400 円、後記高齢者医療保険料は 12 人で 1 万 8,200 円となっている。

還付加算金の起算日の算定ミスが全国で相次ぎ、調査していた。

編集局日誌

情報流出の先には 報道部・加藤武司

3 月中旬、日置市職員労働組合の組合員ら約 500 人の個人情報流出が明らかになった。労組はパソコン処分時のデータ消去を口約束だけで業者に依頼し、業者に消去の証明書などは求めていなかった。取材中、「流出後の被害は出てない」と繰り返す職員。だが、情報流出のその先には犯罪グループの影もちらつく。

今回、第三者に渡ったのは、組合員の生年月日や口座番号、給与支給額に加え、車のナンバーや自動車保険の加入状況も含まれていた。「詐欺グループにとって個人情報は貴重な武器」。県警幹部が訴えていた言葉を思い出す。摘発された振り込め詐欺グループのアジトから、生年月日や電話番号が記された膨大な名簿が押収されることは珍しくない。

今年 1 月末、健康食品を勝手に送り付け、代金支払いを迫ったとして県内を拠点とするグループが逮捕された事件では、「名簿屋」を通じ、個人情報が 1 人 5～10 円で売買されている実態が浮かび上がった。

1 人につき 5～10 円とは一見安い取引に見えそうだが、膨大な数の個人情報がやりとりされるからこそ荒稼ぎできるわけだ。個人情報の行き先に薄ら寒さを感じる。

平成 26 年 4 月 3 日 (木) / 南日本新聞